

今月の編集室から

▼今月のたけし騒動 本誌一月号の写真週刊誌特集とタイミングを

あわせられたかのような「たけし事件」。東京新聞に「たけしと事前連絡して編集したかと思われるほどの出来栄でまさに大ヒット」と絶賛されるなど、一月号は反響

を呼びました。この問題は今後もフォローしてゆくつもりで、次号三月号では早速、写真週刊誌及びマスコミ報道の問題点をえぐる特集の続編を予定しています。報

道という名の暴力の被害にあつた方、ぜひこれだけは言いたいという方、連絡下さい。

▼今月の情報募集 四月頃刊行予定の恒例の「マスコミ就職読本」準備をスタートさせています。昨秋マスコミを受験した方、情報をお寄せ下さい。連絡下さいればアンケート用紙送ります。薄謝進呈。

「薄謝って幾らですか」と先日電話をかけてきた学生がいました。二千円です。

▼今月の忙殺 年末の本誌校了間際、何と一月末予定だったベイビ

ーが突然誕生。一番仕事に忙しい時に思わぬ騒動が重なり三原山噴火並みのパニックとなつてしまいました。

▼今月のリバイバル 五年半前、マイナー誌だった『創』が業界の人びとの注目を集め、部数を飛躍的に伸ばすきっかけになったのが「音羽vs一ツ橋」でした。改めて

その後の音羽と一ツ橋を特集したのは、出版界が「構造不況業種」の一つに数えられる今日、巨大出版社の現況を見ることで業界が抱える問題点を整理出来るのではないかと考えたからです。業界人

だけでなく、マスコミ志望の方にも役立つことでしょう。

▼今月の写真週刊誌 お上が登場する前に議論をしようと呼びかけるつもりだった先月号。不運にも発売に合わせたかのような例の事件で素早くお上の御発言。アホな質問をした新聞記者に絶句。

▼今月のニュースステーション 写真週刊誌批判を続けてきたこの番組に、私は「テレビも忘れるな」と十二月号で警告しました。ピー

トたけしTV復帰↓TV批判続出のあと時間の許す限り見てきました。たけしの動向をニュースとして流しても、久米さん達は一度もコメントしませんでした。相互批判はあつてしかるべきですが、自己批判する勇気がないなら止めとくべきと改めて申し上げておきます。

▼八七年の誓い 絶対に、と大きな声ではいえませんが、今年こそ発売日を守るぞの決意を年末ぎりぎりの校了日深夜した次第です。本年も御愛読ください。(馬)

「注文について」
本誌発行の雑誌・書籍は、お近くの書店でお求め下さい。書店での予約購読が便利で済みます。書店に売切れる場合か、ご近所に書店がなく、やむを得ず当社へご注文下さる場合は、送料実費をいただきます。
本月刊「創」を毎月送本ご希望の場合は、前金で左記へ御送金下さい。定価変更や、増刊号発行の場合は精算の上前金切れのときと通知いたします。
半年三分三、〇〇〇円(送料別)
一年分六、〇〇〇円(送料別)
振替口座 東京(1)七六二七七
水と送金は振替口座か現金書留で、ご注文には住所・氏名・月刊「創」何月号からとご明記下さい。

月刊『創』二月号◎

昭和六十二年一月一日発行
定価五〇〇円
(送料六〇円)

編集人 篠田 博之
発行人 滑川 敏行
印刷所 大日本印刷株式会社
(〒一〇七)
池区赤坂四、五-一七赤坂ハイツ二〇一
発行所 創出版
電話(03)552-5555
振替口座東京(1)七六二七七